

・材料

ホームセンター等にある材料を使っています。ドリルをお持ちの方であれば、円板の穴あけ加工が可能と思いますが、お持ちでない方でも、亚克力板などを利用すれば、錐（キリ）などで穴あけが可能と思います。一部入手しにくい材料があるかもしれませんが、他の代替部品などを使えば、製作は比較的容易と思います。材料は、真鍮やステンレスを使用すると、強度や耐性が増しますが、加工がやや困難です。

1. 円板（アルミ製、直径30mm、厚さ0.5mm□1mm） 3枚

1枚150～200円程度でした。穴あけ加工（3.2mm）をします。厚い程丈夫ですが穴あけが大変です（アルミであれば、できたら1mm厚。真鍮であれば、0.5mmでOK）。ホームセンターによっては、工作室内の工具を使わせてもらえるところもあります。金属加工のできる方は、アルミ板から切り出すと大量に取り出せ、安上がりです。真鍮やステンレスですと、より耐久性や強度が増しますが、（コストもかかります）穴あけ加工がやや困難と思います。中心のネジ棒がスライドし、鉤が開閉するような仕組みであれば、円板でなくても、四角い板でもOKです。身の周りの物をご使用ください。

（参考 ロイヤルホームセンター柏店、ジョイフル本田 守谷店 JOYFUL-2にありました。）

2. 丸棒（アルミ製、直径3mm） 1m 2本

1本100～150円程度でした。こちらも真鍮にすると、加工が若干大変ですが、強度や耐久性が良くなります。（アルミですと若干強度不足のようです。加工は少し骨ですが、丸棒だけでも真鍮製がお勧めです。）約33cmの棒を4本切り出し、鉤としています。1m棒1本から、33cmの棒を3本切り出します。残りの1mの棒から残りの1本を切り出します。（ですから、余りが出ます。）もし、下のネジ棒の入手が困難でしたら、33cmの棒をもう一本取り出し、ネジ棒の代わりとします。また、アルミのφ3mmの針金でも代用可能と思います。しかし、まっすぐに伸ばすのが難しく、また、鉤のカーブをきれいに仕上げるのが困難と思います。実用性は問題ないと思います。

（参考 ロイヤルホームセンター柏店にありました。針金であれば、普通のホームセンターでも入手しやすいと思います。）

3. ネジ棒（M3のネジが切つてあるもの）30cm 1本

入手困難と思います。1本150円でした。（太い規格であれば、1mの長さのネジ棒がホームセンターにあります。M3はないようです。柏では、東急ハンズに真鍮製の30cmがありました。）しかし、なくても大丈夫です。その場合は、上記のとおり、アルミ丸棒 約33cmをもう1本、合計5本切り出します。

4. ネジ類（M3の規格）

M3のネジを使っていますが、規格が2種類あり、ISO規格がピッチ（ネジ山の間隔）0.5mm、旧JISが0.6mmです。ISOが一般的と思いますが、どちらかに揃えてください。もし、ネジ棒が入手できたら、それに合った規格に揃えてください。ステンレスのネジですと、若干高価ですが、錆びません。セット販売が安いかわらば微妙です。

（ワッシャーは省略しました。ワッシャーを使いたい方は、どうぞ。）

・なべネジ M3 長さ30mm□35mm 4本（M3、30mm六角ボルトでも結構です。）

・ナット M3 14個（ネジ棒を使わないのであれば、12個）

5. その他

- ・もかきに取り付けるロープ（好みの太さ、長さのもの）
- ・ロープをネジ棒に取り付けるための、吊り金具等（額縁等の金具。ネジ棒の端を曲げて輪を作り、ロープに付けるのであれば不要です。）